

平成 22 年 1 月 25 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

区分：その他

場所	6号機	
件名	原子炉自動スクラム論理回路の故障について	
不適合の概要	<p>定格熱出力一定運転中の当所6号機において、平成22年1月24日午後1時8分頃、4つの回路で構成されている原子炉自動スクラム論理回路*のうち、1つの回路から、原子炉自動スクラム信号が発生しました。</p> <p>原因を調査したところ、プラントの運転に関する各種パラメータに異常はなく、原子炉自動スクラム論理回路を構成する基板単体の故障により、誤って原子炉自動スクラム信号が発生したものと判明しました。</p> <p>今回の場合、4つある理論回路のうち1つの回路が動作したことから、誤って原子炉自動スクラム信号が発生したもので、実際の制御棒の動作はありませんでした。</p> <p>これによる外部への放射能の影響はなく、安全上の問題もありません。</p> <p>* 原子炉自動スクラム論理回路 異常が発生した場合に原子炉を緊急停止（スクラム）するため、4つの回路で構成されており、そのうち2つ以上の回路が同時に動作すると、制御棒が全挿入され原子炉が自動で停止する。</p>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p><安全上の重要度> 安全上重要な機器等 / その他設備</p>	<p><損傷の程度> <input type="checkbox"/> 法令報告要 <input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要 <input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	<p>当該の論理回路を切り離してスクラム信号のリセットを行い、故障した基板を予備の基板に交換した上で、当該回路を復旧しました。 なお、プラントは現在、定格熱出力一定運転を継続しています。</p>	